

▶ 得意を生かした障害者就労



昨日は久しぶりの雨でした。梅雨明けが早く、7月上旬から35℃を越す猛暑が続いていたので、人間にとっても、植物にとってもまさに慈雨でした。

昨日は、そんな雨を喜びながら、障害者による「希望の森育樹活動」を予定どおり実施しました。昨年からはじめた「いのちを守る希望の森づくりプロジェクト」により、掛川市内には4カ所に約5万本の広葉樹が植えられている「希望の森」があります。この森を、市民・企業・行政が協働により草取りなどを行い、育樹して行こうと考えています。

この育樹活動には、子どもも大人もすべての市民の皆さんに参加してもらいたいと思っていました。そして、障害者の皆さんについても、草取りなら得意という方には、就労として参加出来たら素晴らしいな、と思っていました。このたび、「社会福祉法人進和学園」(神奈川県平塚市)の深いご理解のお陰で、掛川市内の障害者の皆さんが、就労として「希望の森育樹活動」に参加できることになったのです。同学園は、宮脇昭先生の「いのちの森づくり」を推進されていて、障害者の皆さんが苗づくりもしているのです。

昨日は、市内の2つの障害者就労施設を利用されている方々5名が参加をしてくれました。植樹地の草取りは、初めての経験だったのですが、5人とも一生懸命に草を取ってくれました。お陰で、旧掛川市立総合病院「希望の森」の6割ほどは、雑草が抜かれてきれいになりました。